



ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

yumi

2025年9月
第362号

号



- 身近な小鳥たちの、イッショウケンメイな様子に出会うと、心がホカッとします。

aiko.

都市公園で自然観察会 県立春日公園での自然観察会(165回)



日時：2025年9月20日(土)10時から12時まで

集合場所：公園の中央付近にある自然あそび館
オオスカシバ 2025年9/2 撮影:田字草

「問い合わせ先」 担当：田村耕作 Tel 090-8220-6160(田村)

参加費 会員200円 一般 300円 生きものに関心のある方ならどなたでも

注意 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

9月21日（日）10月19日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00
集 合：天拝山歴史自然公園
担当：重松尚紀他

10月11日（土）
大濠公園（福岡市）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
担当：持永俊行他

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

9月28日（日）10月26日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間 9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横駐車場
担当：高原和幸他

10月12日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
担当：山本廣子他

問合せ先090-8220-6160（田村耕作）

10月5日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00
集 合：玄洋高校西側道路
担当：宇都順吉他

10月7日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
担当：田村耕作他

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikuniikyuryo.blog107.fc2.com/>

10月4日（第1土曜日）
集 合：九州歴史資料館
第一駐車場
時 間：9:30～11:30

問合せ：092-920-3072
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索

日本野鳥の会 筑後支部

9月28日（日）
高良山（久留米市）
時 間：9:00～12:00
集 合：高良下宮社
問合せ：090-4357-3043（溝田泰博）

三国丘陵の自然を楽しむ会
観察の様子

福岡植物友の会

9月21日
背振山麓（椎原林道）
中小路 香（092-864-7585）
参加は有料 要予約

久留米の自然を守る会

10月または11月予定
ネイチャーゲームと自然観察会
場所：高良山森林つつじ公園予定
詳細はお問い合わせください。
問合せ：0942-43-7959（河内俊英）

和白干潟を守る会

9月27日（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9月27日（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：080-1761-3924（今林）

ヒメミカンソウ花と実 三国・松永



2025年8月
私のデジカメ日誌より
本のむし

残暑お見舞い申し上げます

8月1日(旧暦6月8日)~8月31日(旧暦7月9日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)

先月号の記事について誤りなどご指摘いただきました。ありがとうございます。



7/26(旧潤6/2)宗像市神湊 海岸の小さな砂丘にびっしり生えていました。確かに菊のような花弁です。マツバボタン(スペリヒュ科)は誤りで、マツバギク(ツルナ科)のようです。両種ともブラジルや南アフリカ原産の園芸品種として幕末から明治頃に渡来したようです。

7/31旧潤6/7筑紫野市天拝坂 左)クマゼミ 右)アブラゼミ
玄関を開けると突然アブラゼミが鳴きだした。ジジジと耳鳴りのようだ。近くでクマゼミもシャーシャシャー鳴きだす。これを書いている8月31日は、この二種に加えてツクツクボウシも鳴いている。



8/5(旧閏6/12)筑紫野市天拝坂
郵便受けの傍をナメクジがあつという間にすり抜けた。カタツムリよりもかなり早い。9割が水。カラスは天敵。

8/6(旧閏6/13)筑紫野市天拝坂
ホソヘリカメムシの仲間か。家に居ることが多いと、家から出たがっている昆虫などよく見かけます。

8/7(旧閏6/14)筑紫野市天拝坂
アゲハが2頭。一方が追い払ったように見えた。産卵場所の取り合いなんか。今年は幼虫をあまり見ないが…

8/8(旧閏6/15)筑紫野市天拝坂
毎年現れるマユタテアカネ。ヤゴはどこで孵化んだろう。いつ見てもこんなに小さかったかと思う。



8/20(旧閏6/27)筑紫野市天拝坂
法面に今まで見なかった鉄砲百合が咲いていた。近所に植栽されているが、球根? 実生? どっちだ。

8/26(旧7/4)筑紫野市天拝坂
夜、家の中に紛れ込み、蛍光灯でジッジッ。ツクツクボウシだ。クマゼミよりもかなりほっそりしている。

8/29(旧7/7)大野城市牛頸川
桜の皮目(皮孔)。桜唇(おうしん)という語は美人の小さな唇の事だが、この皮目をそう呼ぶらしい。

8/29(旧7/7)大野城市牛頸川
毎日眺めている向かいのアメリカフウ。いつの間にか紅葉が始まっている。最低気温が8℃を切ると紅葉が始まると習ったが…?

来月号の「私のデジカメ日誌より」は、お休みさせていただきます。

春日公園自然観察会 令和7年8月16日（土）【参加者】4人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池を巡り～自然風庭園を経て自然あそび館にもどった。

観察内容 晴れ、27℃で開始。終了時日向は38℃でした。

いろいろな生きものを観察した中で、主な種類を示します。

植物 アゼナ、イチョウの芽ばえ、クヌギの芽生え、サルスベリの花、イチョウの実（ギンナン）、ラクウショウ、シダレヤナギ、クヌギ、コナラ、アセビ。

菌類 ヘビキノコモドキ。

昆虫 アブラゼミ、クマゼミ、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、タイワンウチワヤンマ、ウチワヤンマ、ギンヤンマ（産卵）、イトトンボの仲間、

野鳥 スズメ（30以上の群れ）、メジロ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、シジュウカラ、ムクドリ、ハクセキレイ、カワラバト、アヒル、カワセミ。

感想（参加者、その場の声）

- ・日陰が涼しいを実感。
- ・蜻蛉（コノシメトンボ♂）が美しい。
- ・意識してみると、蜻蛉がたくさんいた。
- ・蜻蛉観察は、スマホの検索機能と共に、図鑑が手元に欲しい。
- ・前回観察したベニトンボやコフキトンボ、チョウトンボが観察できなかった。

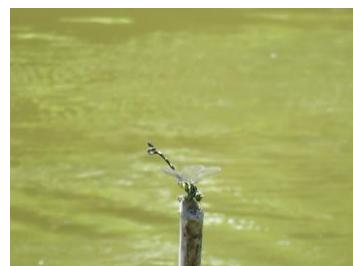
観察会開始の様子



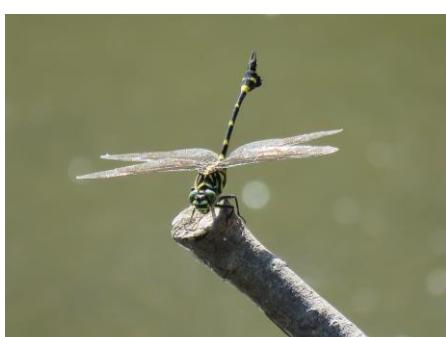
ヘビキノコモドキがたくさん



ウチワヤンマ



タイワンウチワヤンマ



交尾中のギンヤンマ



シオカラトンボ♀休息かな



自然風庭園で、コノシメトンボ♂ 漸く観察できたショウジョウトンボ♂



大事な伝言です。



撮影：田村耕作

会員からの投稿（1）秋山芽生子 博多湾の東部を中心に活動中 7と8月撮影 雁ノ巣と立花山



若いムクドリの群れ



砂団子とコメつきガニ



クリークの水辺で休息するキアシシギ達



採食中のセイタカシギ、キアシシギ



タテハモドキ



会員からの投稿（2）田村耕作

この夏、福岡地域より南に分布していると言われている生きものが、気になりました。鳥類のリュウキュウサンショウウクイは、以前には九州南部以南に生息していましたが、瞬く間に、九州北部で繁殖しています。昆虫たちも九州南部から南に生息すると言われていたアオビタイントボ、ベニトンボ、アカギカメムシなどが、私の散策では、目立ちました。確実に気温が上昇している証ですね。



ベニトンボ♂ 9/2 牛頸川



アオビタイントボ♂ 7/22 田島

アカギカメムシ 9/6 油山



お知らせ1 自然観察指導員の講習会が、お隣の熊本県で、11/22（土）～ 11/23（日）

に、国立阿蘇青少年交流の家で開催される予定です。

主催：（公財）日本自然保護協会（NACS-J）共催：自然観察指導員熊本県連絡会、ネイチャー佐賀

対象：満18歳以上の方 費用：調整中（通常2万～3万前後）

問い合わせ先：篠原晴美（090-3015-5023） nokebos0219@gmail.com

会員の皆さん、広報をお願いします。

お知らせ2 <九州自然協議会かごしま>

日 程 2025年11月29日（土）14:00 集合 11月30日（日）12:00 解散

集合場所：丸岡公園内 交流センター「丸岡さくら館」 鹿児島県霧島市横川町上ノ3201

宿泊 丸岡公園内 バンガロー「こもれびの里」 費用 5000円

参加申し込み 9月末 早めにお申し込みください。（11月27日まで申し込み、キャンセル可能です）

担当・申込先 河井さん bannri@krd.biglobe.ne.jp

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2025年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会

次回の定例会は、令和7年10月10日（金）午後2時より事務局で行います。令和7年10月号の原稿は、10/7（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

会員からの感想：

編集後記 2025年8月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

夏季と秋季、暦の上では秋となりましたが、体感で秋を感じるようになりたいですね。油山の林道沿いで涼しげな名前のマツカゼソウの群落を見かけました。生きものの季節は秋が始まっているのでしょうか。

マツカゼソウ 9/6 撮影:田字草

